

2-7. スマートフォンアプリとの使用

リサウンドのスマートフォンアプリとリサウンドのワイヤレス補聴器はスマートフォン経由で信号を送受信します。リサウンドのスマートフォンアプリは、リサウンドの補聴器と使用するように設計されています。

- 通知をオフにしないでください。
 - アプリが正しく作動するように、アップデートを行ってください。
- リサウンド以外の補聴器に接続してもその動作を保証するものではありません。

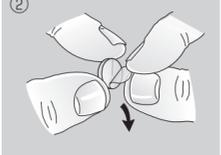
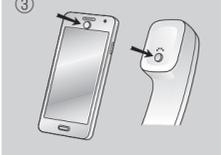
※ Bluetooth対応のスマートフォンをお持ちの場合は、携帯ユニットIIを使用して通話することができます。

2-8. スムーズホンの使用（オプション）

スムーズホン用のマグネットを取り付けた受話器を耳にあてると、お知らせ音が鳴り、自動的に補聴器が電話モードになります。受話器を耳から離すと、自動的に元のプログラムに戻ります。必要に応じて、受話器の最適な位置をお探しください。

両耳連動機能使用時	販売店で設定必要	専用プログラム
受話器を当てていない耳の音量が下がります。		

■ マグネットの取り付け方

①	②	③
		
受話口周辺を清潔な状態にしてください。	マグネットからホイルを取り外してください。	受話口のすぐ下に貼ってください。

▲ 警告

- スムーズホン用のマグネットは医療機器や電子装置へ影響を与える可能性があります。詳細はお使いの医療機器、電子装置の取扱説明書をご参照ください。記載がない場合は、30cm以上離してお使いいただく事を推奨します。
- スムーズホンプログラムに切り替わらない場合は、マグネットが受話口に対して最適な位置にない可能性があります。その場合は、マグネットを受話器の他の場所に動かしてください。
- 必ずリサウンドのスムーズホン用のマグネットをご使用ください。

2-9. ワイヤレスアクセサリ

リサウンドのワイヤレスアクセサリは、高音質の音声で補聴器へのダイレクト送信が可能です。下記のワイヤレスアクセサリがあります。

TVユナイトII：テレビやその他のオーディオ機器からの音声を、あなたに合った音量で補聴器にダイレクト送信します。**シンプルリモコン**：補聴器の音量調整や消音、プログラム変更などができます。**リモコンユナイトII**：補聴器の音量調整や消音、プログラム変更などができ、すべての設定を一目で見ることができます。**携帯ユニットII**：通話や音声を両耳の補聴器にダイレクト送信するとともに、シンプルなりモコンとしても機能します。**マイクロマイク**：話し相手の胸元に身に付ければ、騒がしい環境で離れても相手の声が聞き取りやすくなる補聴器用マイクです。**マルチマイク**：マイクロマイクの機能に加えて、テーブルマイクとしても機能します。FMシステム、テレコイル、ライン入力にも対応しています。

詳しく知りたい場合はお買い求めの販売店にお尋ねください。
※ リサウンドのワイヤレスアクセサリはリサウンドのワイヤレス補聴器とのみご使用ください。
※ ペアリング等のより詳しい使い方はワイヤレスアクセサリーの取扱説明書をご覧ください。

2-10. リサウンド・アシスト遠隔サポート

リサウンド・アシスト遠隔サポートを使用することにより、再調整が必要な時であってもお買い求めの販売店を都度訪問せず、専門家による再調整を遠隔操作で受けることができます。インターネットに接続可能なスマートフォンをお持ちであれば、このサービスを受けられますが、事前にお買い求めの販売店にて同意手続きが必要です。

- 補聴器の再調整が必要なときは遠隔サポートのリクエストを行ってください。お買い求めの販売店が遠隔で調整をし、変更したプログラムのお届けします。このプログラムは、あなたの都合に合わせてインストールすることができます。
- 補聴器のアップデート機能を使うことにより、補聴器の性能を最良に保つことができます。補聴器ソフトウェアのアップデートがある場合はあなたの都合に合わせてインストール可能です。

▲ 注意

- インストールおよびアップデート中は補聴器の機能はオフになります。
- 補聴器がリサウンドスマート3Dアプリに接続されていることを確認し、iPhoneまたはAndroidスマートフォンの近くに置いてから、インストールおよびアップデートを始めてください。
- このサービスは、スマートフォンがインターネットに接続されている場合のみ機能します。
- リサウンドスマート3Dアプリとリサウンド・アシスト遠隔サポートに関する詳細情報はお買い求めの販売店にお問い合わせください。
※ 一部店舗では遠隔サポートは使用できない場合があります。対応については販売店にご確認ください。

3 使用上の注意

補聴器はきこえを助ける医療機器です。ここに示した警告や注意事項は補聴器を正しく使っていただき、装用者ご本人や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。以下の項目をお読みになり、取扱いにご注意ください。

▲ 警告

- お子様に触れないようご注意ください。**飲み込むと窒息の危険を伴う小さなパーツを含んでいるので、幼児の手に触れさせないようにお願いします。
- 飛行機に搭乗する際には、フライトモードを使ってワイヤレス機能をオフしてください。**
- スムーズホン用のマグネットは乳幼児の手の届かないところに保管してください。**マグネットを誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師へご相談ください。また、マグネットを錠剤と間違わないように注意し、薬を飲むときは必ず確認するようにしてください。
- 電波を出すことを禁じられているエリアでは、フライトモードを使ってワイヤレス機能をオフしてください。**
- リサウンドの補聴器を補聴器用ワイヤレスアクセサリと接続する際には、必ずリサウンドの補聴器用の機器(有料オプション品)をご使用ください。**
- フィッティングを行う専門家の方への警告**この補聴器は132dB SPL以上の出力がある場合があります。フィッティングの際には充分注意してください。

▲ 注意

- 衝撃・熱を避けてください。**補聴器に強い衝撃をあたえたり、落としたりしないでください。また、直射日光の強いところや炎天下の車内、火のそば、ストーブの上面など、高温となる場所での使用/放置はしないでください。
- 補聴器はいつも清潔にしておいてください。**就寝時には必ず補聴器を外してお手入れをしてください。
- 適切な音量でご使用ください。**必要以上に大きな音を長時間聴取すると、聴力低下をおく場合があります。
- 補聴器はお使いになる方のきこえ具合に合うように調整する必要があります。**この補聴器は、販売店でお使いになる方のきこえ具合に合わせて調整してもらってから装用してください。
- 補聴器を装用しても良く聞き取れない音もあります。**

- 小さすぎる音、速くの音や周囲の雑音が大い環境下での音声は十分に聞き取れないこともあります。このような場合は音源に近づくか、またはお買い求めの販売店にご相談ください。
- ハウリング(ピーピー音)にご注意ください。**耳せんがきちんと収まらず、装用者に不快感を与えるばかりでなく、周囲の人にも迷惑をかけることとなります。ご自分でハウリング音を確認できない場合は、ご家族など周囲の人にもきいてもらい、補聴器を正しく入れ直してください。
- MRIやCTスキャナーなどの検査は補聴器に損傷をあたえる可能性がありますので、同種の検査中は補聴器の装用をおやめください。**
- 充電器にクレジットカードや定期券などの磁気製品を近づけないでください。**充電器には磁石を使った部品が内蔵されているため、磁気製品の記録に影響をおよぼすことがあります。

この補聴器の無線機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。 <p>1. この補聴器の無線機能を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。</p> <p>2. 万一、この補聴器の無線機能と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの補聴器の無線機能の使用場所を変更するか、または使用を停止（電波の発射を停止）してください。</p> <p>3. 不明な点その他お困りのことが起きたときには、弊社のカスタマーサービスまでお問い合わせください。</p>	<div><div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div><div><div></div></div></div></div></div> <div> <div>2.4 FH 1</div> <div>2.400 2.427 2.470.75 2.483.5 MHz</div> </div>	この補聴器の無線機能は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、干渉距離は10mです。
---	---	---

4 リチウムイオン電池の使用

■ リチウムイオン電池についてのQ&A

リチウムイオン電池についての質問	回答
新しい電池はどのように準備したら良いですか？	充電電池は内蔵式です。予めセットされているものをお使いください。
不適切な使用で電池を破損することはありますか？	物理的に破壊したり、高温にさらさない限り破損することはありません。
必ずフル充電しなければなりませんか？	フル充電しなくてもお使いいただけますが、フル充電をすることで補聴器の使用可能時間が長くなります。
充電を中断することはできますか？	充電を中断しても、電池に問題はありません。
充電前に電池を使い切る必要がありますか？	この製品は毎日（一晩中）充電してお使いいただくことを想定しています。充電前に電池を使い切る必要はありません。
継ぎ足し充電でメモリー効果が起こり、起電力が低下する可能性がありますか？	継ぎ足し充電をしてもリチウムイオン電池に影響はありません。

▲ 注意

- 補聴器を装用して炎症が生じたら**→この補聴器の皮膚に接する部分には、かぶれや炎症などを起こしにくい材料を使用していますが、装用者の体質によっては、まれにかぶれや湿疹などを生じることがあります。このようなときは、ただちに補聴器の装用を中止し、医師へご相談ください。
- 低周波治療器・電磁（H）調整器などによって補聴器に雑音が発生することがあります。**
- ＜使用済補聴器の処理方法＞**「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」の「使用済み小型電子機器等の回収に係るガイドライン」で補聴器は特定対象品目に指定されました。ご用になった補聴器は、お住まいの市町村の指示に従って処理してください。ご用になつた付属品は、お住まいの市町村の指示に従って廃棄してください。
- バッテリー付き充電器はリチウムイオン電池(3.7V、2600mAh)を使用しております。実際の廃棄に関しては、各自治体の区分に従って廃棄してください。**
- ワイヤレス機能がオンになっているとき、ワイヤレス機器と通信するため、デジタル符号化された低出力伝送が使えます。そのため、ワイヤレス機器を使用しているときに近くの電子機器に影響を与える可能性があります。方が一機器への影響が認められた場合は、補聴器を遠ざけてください。**
- ワイヤレス機能及び機器の使用に際して電磁波障害が起こった場合には、その原因となるものから遠ざけてください。**
- サウンドジェネレーター機能の使用には医師の処方が必要です。ご使用の際には必ず医師の指示に従ってください。**

🚫 禁止

- 補聴器を水に濡らさないでください。**補聴器を装用したまま泳いだり、お風呂に入ったり、洗顔なさらさないでください。
- 補聴器を分解したり、ご自分で修理・改造などを絶対になさらないでください。**
- 補聴器を乾燥させる目的でヘアドライヤーや電子レンジなどを絶対に使わないでください。**
- 補聴器を他人にお貸しにならないでください。**補聴器は使用者本人以外絶対に使用にならないでください。他の人がこの補聴器を装用しても音量や音質が合わず聞こえにくいばかりでなく、耳を痛める場合があります。
- 病院内の検査機器にご注意ください。**MRIやCTスキャナーなどの検査は補聴器に損傷をあたえる可能性がありますので、同種の検査中は補聴器の装用をおやめください。
- 充電器にクレジットカードや定期券などの磁気製品を近づけないでください。**充電器には磁石を使った部品が内蔵されているため、磁気製品の記録に影響をおよぼすことがあります。

リチウムイオン電池についての質問	回答
フル充電後、補聴器を充電器から外す必要がありますか？	充電器に補聴器を一晩中セットしていても問題はありません。長期間補聴器を使用しない時は電源を切り、充電器から外して保管してください。
充電により充電器本体の温度が上がりますか？	充電後、多少温度が上がる可能性があります。
低温下では、どのように充電したら良いですか？	周囲温度が5℃以下の場合には充電されません。充電は5～40℃の範囲で行ってください。
高温下で充電できますか？	動作環境は5～40℃です。
航空機内への持ち込みはできますか？	各航空会社にお問い合わせください。

5 故障かな?と思ったら

症 状	原 因	対 策
音がきこえない／音の大きさが不十分	電源が入っていない。充電されていない。音の出口が詰まっている。耳せんとレシーバチューブが正しく装着されていない。レシーバやレシーバチューブが破損している。耳あかガードが詰まっている。装用者の耳に過度の耳あかが詰まっている。設定音量が小さい。	プログラム選択ボタンを5秒間長押しして電源を入れてください。充電する。音の出口を掃除して詰まりをとる。注意して装着し直す。販売店に相談する。販売店に相談する。医師に相談する。可能であれば音量を上げる、または販売店に相談する。
ハウリング（ピーピー音）がする	耳せんとレシーバチューブが正しく耳に入っていない。補聴器の設定が合っていない。耳せんの大きさが外耳道に対して合っていない。装用者の耳に過度の耳あかが詰まっている。	注意して入れ直す。販売店に相談する。販売店に相談する。医師に相談する。
音が不明瞭、音が歪む	充電されていない。プログラムの設定が合っていない。	充電する。販売店に相談する。
ワイヤレス機能が使えない	フライトモードに入っている。充電されていない。	フライトモードを解除する。充電する。
補聴器が充電できない	補聴器が充電器に正しくセットされていない。充電器が充電されていない。	補聴器を充電器にセットし直す。充電器を充電ケーブルでコンセントに接続し、充電する。
	他社製の物が使用されている。	リサウンドの充電器を充電ケーブルでコンセントに接続し、充電する。

※ 対策をしても解決しない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

6 性能表 2cmカブラ 測定規格：JIS C 5512：2015

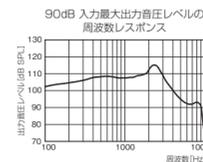
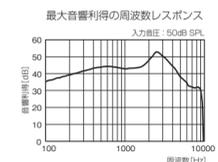
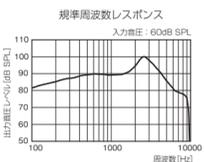
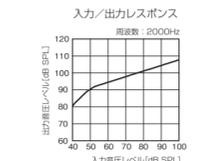
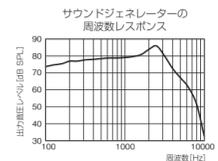
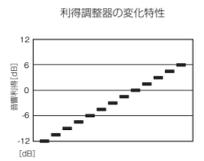
性能表	表示単位	MM	LP	MP	HP	UP	
90dB入力最大出力音圧レベル	HFA-OSPL90 ピーク	±4dB SPL	110	108	114	117	124
最大音響利得	HFA-FOG ピーク	±5dB	47	46	52	59	65
等価入力雑音レベル		+3dB SPL以下	53	53	58	65	76
全高調波ひずみ		+3dB SPL以下	20	20	20	20	22
使用時間*	充電電池 (3.7V,25mAh)	時間	30	30	30	30	30
規準周波数レスポンス	帯域幅	Hz	100-9100	100-9410	100-9160	100-7140	100-5010
定常状態入力特性(2000Hz)	50dB入力	±5dB SPL	90.3	88.8	94.4	97.8	110.8
	90dB入力	(70dBで正規化)	104.4	104.9	108.9	112.3	123.4
サウンドジェネレーター機能最大出力音圧レベル	500Hz	±5dB SPL	78	69	75	77	77
	1000Hz	±5dB SPL	79	72	76	78	80
	2000Hz	±5dB SPL	84	77	79	82	85
	4000Hz	±5dB SPL	73	81	77	80	79
	ピーク値	±5dB SPL	86	84	84	87	87
広帯域最大出力音圧レベル		±5dB SPL	92	88	90	93	92
使用目的、又は効果			身体に装着して、聴聴者が音を増幅して聞くことを可能とすること。ただし、気導式のものに限る。また、耳筒による不快感の軽減に用いること。				
使用時の環境条件			温度：5～40℃、相対湿度：15～90％（結露なきこと）、気圧：700～1060hpa				
電撃保護		内部電源機器	B形装着				
輸送・保管条件			温度：-20～60℃、相対湿度：90％以下（結露なきこと）、気圧：700～1060hpa				

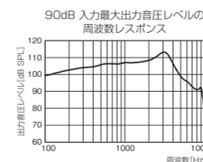
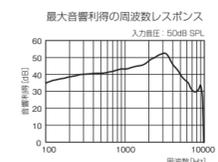
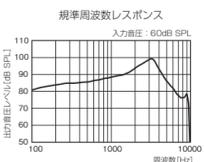
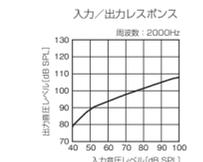
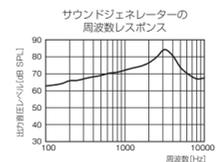
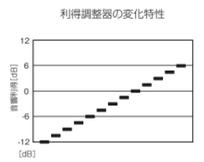
※ ワイヤレス機能使用時は使用時間が短くなります。

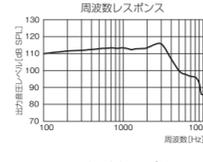
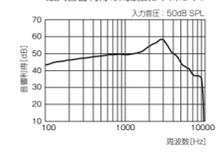
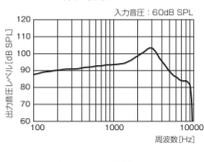
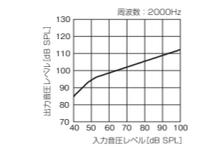
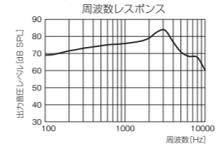
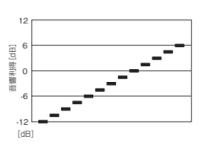
※ 数値は参考値です。

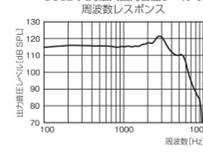
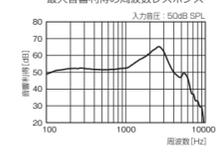
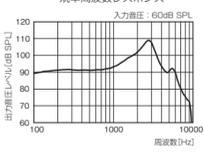
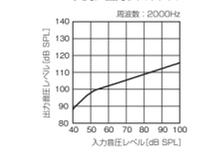
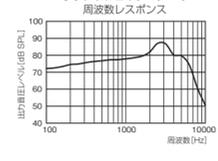
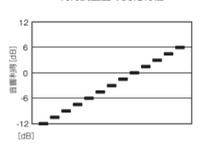
※ 約3時間充電の場合です。

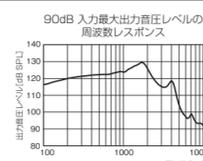
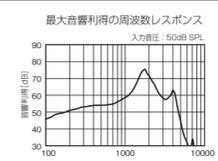
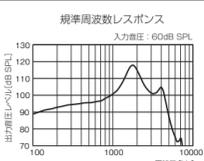
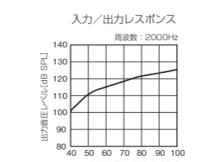
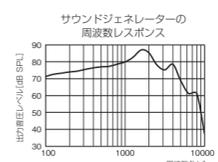
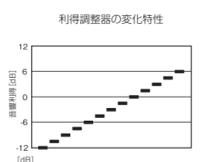
7 音響諸特性 2cmカブラ 測定規格：JIS C 5512：2015

MM マリー用レシーバ		
<p>90dB 入力最大出力音圧レベルの周波数レスポンス</p> 	<p>最大音響利得の周波数レスポンス</p> <p>入力音圧：50dB SPL</p> 	<p>規準周波数レスポンス</p> <p>入力音圧：60dB SPL</p> 
<p>入力/出力レスポンス</p> <p>周波数：2000Hz</p> 	<p>サウンドジェネレーターの周波数レスポンス</p> 	<p>利得調整器の変化特性</p> 

LP レシーバ		
<p>90dB 入力最大出力音圧レベルの周波数レスポンス</p> 	<p>最大音響利得の周波数レスポンス</p> <p>入力音圧：50dB SPL</p> 	<p>規準周波数レスポンス</p> <p>入力音圧：60dB SPL</p> 
<p>入力/出力レスポンス</p> <p>周波数：2000Hz</p> 	<p>サウンドジェネレーターの周波数レスポンス</p> 	<p>利得調整器の変化特性</p> 

MP レシーバ		
<p>90dB 入力最大出力音圧レベルの周波数レスポンス</p> 	<p>最大音響利得の周波数レスポンス</p> <p>入力音圧：50dB SPL</p> 	<p>規準周波数レスポンス</p> <p>入力音圧：60dB SPL</p> 
<p>入力/出力レスポンス</p> <p>周波数：2000Hz</p> 	<p>サウンドジェネレーターの周波数レスポンス</p> 	<p>利得調整器の変化特性</p> 

HP レシーバ		
<p>90dB 入力最大出力音圧レベルの周波数レスポンス</p> 	<p>最大音響利得の周波数レスポンス</p> <p>入力音圧：50dB SPL</p> 	<p>規準周波数レスポンス</p> <p>入力音圧：60dB SPL</p> 
<p>入力/出力レスポンス</p> <p>周波数：2000Hz</p> 	<p>サウンドジェネレーターの周波数レスポンス</p> 	<p>利得調整器の変化特性</p> 

UP レシーバ		
<p>90dB 入力最大出力音圧レベルの周波数レスポンス</p> 	<p>最大音響利得の周波数レスポンス</p> <p>入力音圧：50dB SPL</p> 	<p>規準周波数レスポンス</p> <p>入力音圧：60dB SPL</p> 
<p>入力/出力レスポンス</p> <p>周波数：2000Hz</p> 	<p>サウンドジェネレーターの周波数レスポンス</p> 	<p>利得調整器の変化特性</p> 

8 アフターサービス

■保証書（別添付）	
お買い上げ日、販売店名などの記入を必ずお確かめになり、大切に保管してください。保証適用時には、保証書が必要となります。	
■修理について	
・保証期間中	・保証期間後
保証書を添えてお買い求めの販売店へお持ちください。保証書の規定に従って、修理いたします。保証書の提示がない場合は有料となります。	お買い求めの販売店にご相談ください。修理にください。保証書の規定に従って、修理いたします。より使用可能な場合は、ご希望により有料で修理いたします。

「Made for Apple」[ツジ]は、iPhone,iPad,iPod touchに接続するよう設計され、Appleが定める性能基準を満たしているとデベロッグによって認定された電子アクセサリであることを示します。Appleは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

※ **仕様について**
改良のため仕様、付属品は予告なく変更される場合があります。

※ **商標登録について**
©2022 GNCアライアングジャパン(株) 無断複写・転載禁止。Apple, Appleロゴ,iPhone,iPad,iPod touchは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。iPhone商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。AndroidとGoogle Play,Google PlayロゴはGoogle LLC.の商標です。Bluetoothのワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標です。

Made for	Works with
 iPhone iPad iPod	 android